

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 24日	
山梨県知事 長崎 幸太郎 殿	
提出者 住 所 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1727-1 氏 名 テルモ株式会社 甲府工場 甲府工場長 桜田 俊道 電話番号 055-275-7111 (代表)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	テルモ株式会社 甲府工場
事業場の所在地	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1727-1
計画期間	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	医療用機械器具製造業 (医薬品・医療用具の製造) 産業分類 No.2741
② 事業の規模	製造品出荷額 : 372億円
③ 従業員数	946名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙、発生・処理フローシートの通り

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①・ 現状	【前年度（ 2023年度 ）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組) 歩留り向上による、廃棄量低減。 処理委託先での中間処理後リサイクル化推進		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	排 出 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) 歩留り向上による、廃棄量低減。 排出品の分別化を推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、汚泥、ガラスくず、廃油・廃液、木くずに分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上の継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①・ 現状	【前年度（ 2023年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組) 自社施設（脱水機）による減量化 自社施設（浄化槽）による減量化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) 自社施設（脱水機）による減量化継続 自社施設（浄化槽）による減量化継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①・ 現状	【前年度（ 2023年度 ）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(これまでに実施した取組)		
	処理委託先での適正処分と再生資源等リサイクル化されているかどうかの現地確認を実施。 有価売却量増加による、産業廃棄物量の減量化。		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	別紙のとおり
	(今後実施する予定の取組) 市況の影響を受けた有価買取量の減少及び産業廃棄物処分委託量の増加はやむを得ないを考える。 環境影響の低減を図るため、資源再利用を進めて埋立処分量の削減を進める。 更に、廃棄物処分におけるリスク分散を図るため、2社契約を推進していく。		
※事務処理欄			

(任意) 事業系一般廃棄物に関する事項

自ら行う事業系一般廃棄物の処理施設への搬入に関する事項						
① 現 状	【前年度（ 年度）実績】					
	一般廃棄物の種類					
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg
	(これまでに実施した取組)					
② 計 画	【目標】					
	一般廃棄物の種類					
	排 出 量	kg	kg	kg	kg	kg
	(今後実施する予定の計画)					
許可業者への処理の委託に関する事項						
① 現 状	【前年度（ 2023年度 ）実績】					
	一般廃棄物の種類	焼却物	生活系汚泥	剪定枝等		
	排 出 量	50,000kg	65,680kg	61,780kg		
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の分別					
② 計 画	【目標】					
	一般廃棄物の種類	焼却物	生活系汚泥	剪定枝等		
	排 出 量	60,000kg	80,000kg	60,000kg		
	(今後実施する予定の計画) 廃棄物の分別					

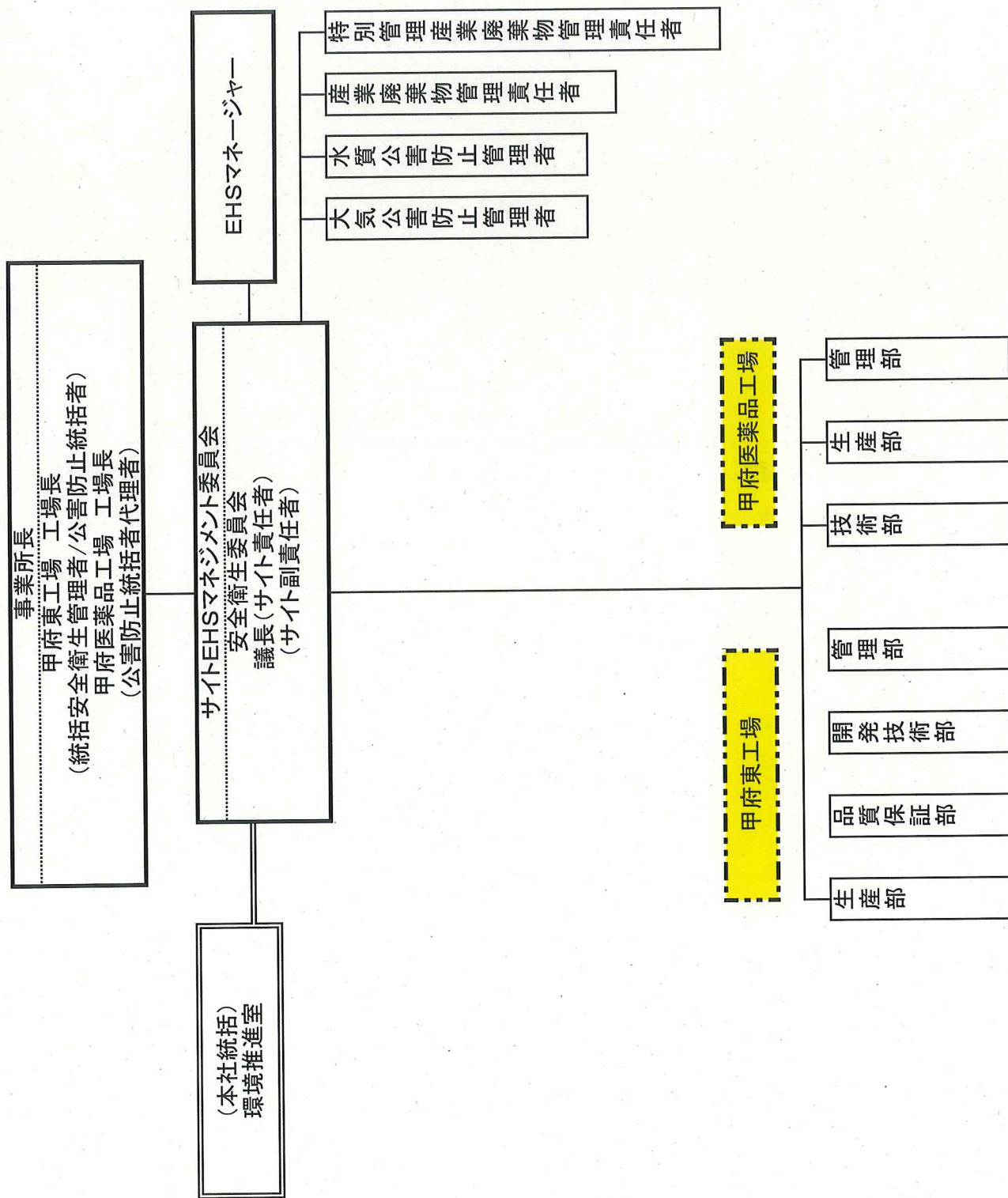
備考

(第1面)～(第5面)について(法で定める事項)

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(第6面)について(事業系一般廃棄物に関する事項で記入は任意です)

- ・事業系一般廃棄物に関し減量の取組みを行っている、又は今後取組む方は記入をお願いします。
- ・一般廃棄物の種類については、「紙」、「びん」、「缶」等で分別している場合は、その区分の記載をお願いします。細かく分別していない場合は、「可燃物」、「不燃物」等の記載をお願いします。
- ・同封しました「トライ産廃スリム」の対象として、事業系一般廃棄物も含まれます。



※EHSマネジメントシステム (Environment, Health and Safety Management System)
Environment: 環境 (ISO14001), Health and Safety: 労働安全 (OHSAS18001)

別紙

産業廃棄物の排出量、処理委託量の実績・目標

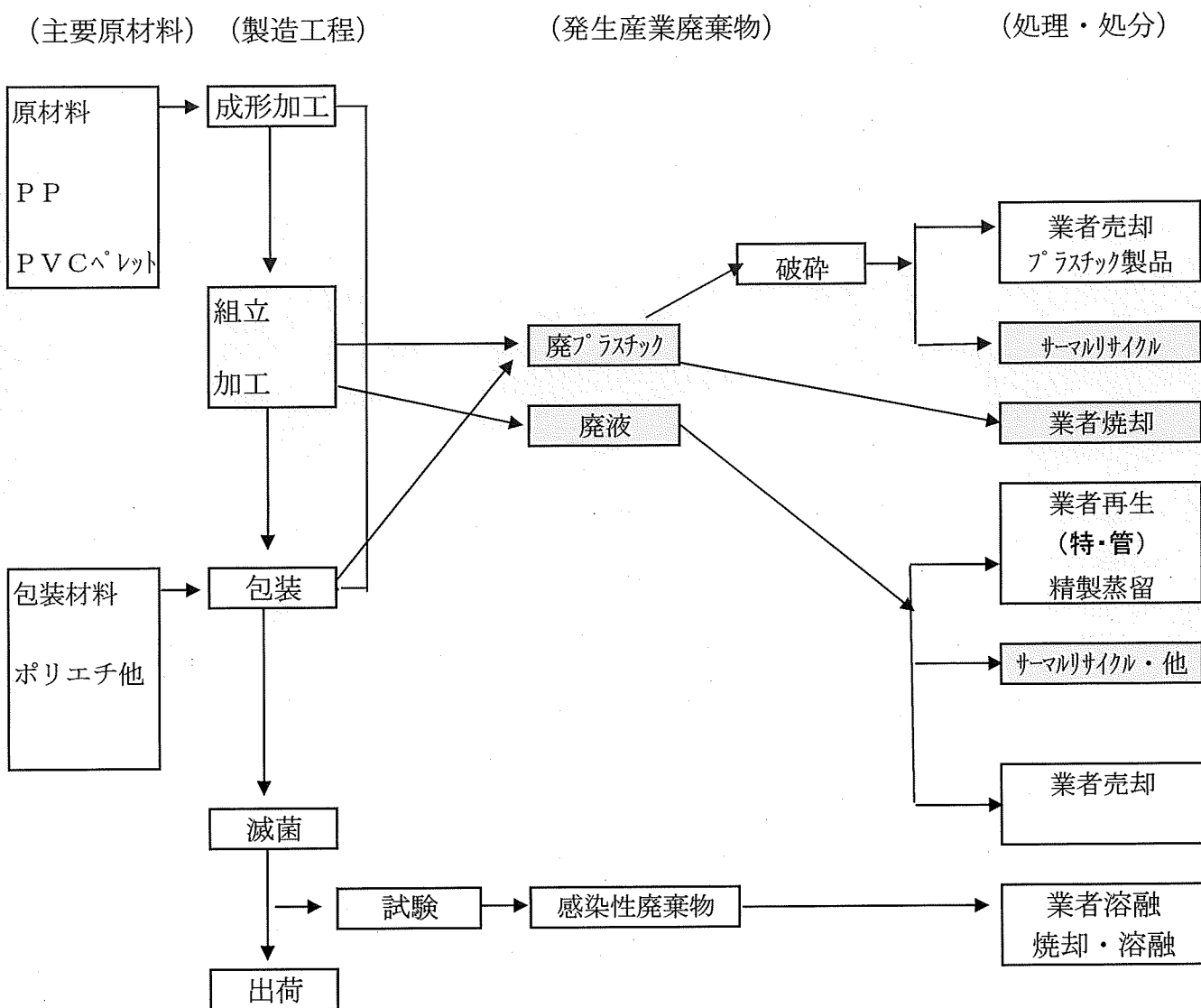
1. 実績 (単位: トン)

		2023年度									
	産業廃棄物 排出量	目標量	自ら行う産 業廃棄物の 再生利用の 量	自ら行う産 業廃棄物の 中間処理の 量	自ら行う産 業廃棄物の 埋立処分又 は海洋投棄 処分の量	全処理委託 量	優良認定処 理業者への 処理委託量	再生処理業 者への処理 委託量	認定熱回 収業者への 処理委託 量	認定熱回収 業者以外へ の処理委託 量	
廃プラスチック		759	830	0	0	0	759	759	0	23	
	汚泥		234	0	0	0	234	140	234	0	
	液状汚泥		210	0	0	0	199	199	188	7	
	廃液		140	0	0	0	333	326	256	77	
	ガラスくず		8	0	0	0	275	274	266	9	
	木くず		2	0	0	0	6	0	6	0	
	合計	1,806	1,410	0	0	0	1,806	1,698	950	829	
										27	

2. 目標 (単位: トン)

2024年度目標										
	前年度の 産業廃棄物 排出量	目標量	自ら行う産 業廃棄物の 再生利用の 量	自ら行う産 業廃棄物の 中間処理の 量	自ら行う産 業廃棄物の 埋立処分又 は海洋投棄 処分の量	全処理委託 量	優良認定処 理業者への 処理委託量	再生処理業 者への処理 委託量	認定熱回 収業者への 処理委託 量	認定熱回収 業者以外への 処理委託 量
廃プラスチック	759	800	0	0	0	800	800	550	330	0
汚泥	脱水汚泥	234	0	0	0	250	150	200	0	0
	液状汚泥	199	0	0	0	200	200	180	20	0
廃液	333	350	0	0	0	350	330	260	90	0
ガラスくず	275	280	0	0	0	280	280	270	10	0
木くず	6	8	0	0	0	8	0	8	0	0
合計	1,806	1,888	0	0	0	1,888	1,760	1,468	450	0

[廃棄プラスチック類他・廃液]



[汚泥・木屑・ガラス屑]

